

とおりゃんせ通信

NPO法人あかねの和 4月号
令和6年4月10日発行



春の陽気とともに、本年度がスタートいたしました。
花が咲いた後に、力強く葉を伸ばしている木、花を咲かせようとせいっぱい茎を伸ばしている草花、自然の素晴らしい営みを感じつつ、今年も一年、ご家族の皆様安心して頂けるような支援を行いたいと思います。
NPO法人あかねの和に、理学療法士(男性)1名、看護師(女性)1名、厨房職員1名の新入職員を迎え、それぞれの事業所スタッフは、心新たに、お子様や高齢者様の支援を行っていきます。



通所介護南側の敷地の工事は、完成が10月末の予定です。

現在、須見医院で実施しているとおりゃんせ2/とおりゃんせ3が、新施設に移ります。お子様を思うスタッフの「愛情」と「知恵」がてんこ盛りの設計となっています。

どうぞ楽しみにしててくださいね。

子どもでも花粉症になるの？

子どものスギ花粉症は年々増えており、5～9歳で30.1%、10～19歳で49.5%と大人の発症率と変わりません。幼児では症状を具体的に伝えることが難しいため、まわりが注意を払う必要があります。子どもに異変を感じたら、医療機関でしっかり診断してもらうことが重要です。



「くしゃみ」より「鼻づまり」が主な症状

花粉症の主な症状といえば、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみですが、子どもの場合はちょっと異なります。子どもの場合はくしゃみがあまり出ずに、鼻づまりが多い傾向にあります。また、鼻水も大人と違って、大人はさらさらですが、子供は少し粘っこいものが出ます。

子どもに点眼する場合のアドバイス

基本的な点眼方法

膝枕などをして、恐怖感を取り除いてあげることが重要です。

目をつぶってしまう場合

目のまわりを拭いてから、目頭付近に点眼し、まばたきをさせて薬を目の中に入れましょう。

※泣いている時には薬が涙で流されてしまうので、泣き止んでから行うようにしましょう。

